^镁 式第3号				争務争某	評価表(平成2	6年度)								
事業コード	1045		課コード	1503	会計種別	一般会計			予算(の種類	■政策	■経常	□なし	
I. 事業の概要(PLAN)														
	Q = # 7	基本事業 確かな常	学力の育成			実施計画への		- 0 tm		@ *n=== 7	*L -T 40 Zfr +	n 15.72.50		
	①事業名		Z 教育の推進(ALT	.)		位置づけ		0 無		②部課名		・指導課		
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○その	D他(平成3	年度 ~)	④対象地区 ⑥担当職員数	□我孫子	□天王台	□湖北 4 人	□新木 (換算人数	□布佐	●全市 0.44 人)		
1)事業概要	⑦事業費	総事業費		88,807 千円		当該(開始)年度	(当 初)		57,757 千円	(うち人件費		4,092 千円)		
	(人件費含む)						(変更後)		千円	(うち人件費		千円)		
	⑧施策の位置づけ	- 施策 コード	43102	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ		●無		部門別計画への 位置づけ	(計画名)			
(2)目的	施策目的・			た市職員を育成するため、講座や 受業や地域での体験イベントなどを			児童・生徒に対	して、体験的	に英語を学習で	できる授業を展開し	し、英語学習	こ対する興味関心	を高める。	
	展開方向						市内全小中学校	に、ALTを	派遣し、小学校	交5・6年生及び	全中学生が、	ALTと学級担任	や英語科教員に	
(3) 事業内容	内容	助手)を市内全小山た、現学習指導要領おこなうために、最に在籍する外国から校生活が送れるよう	ま 当該年度 校 執行計画 学	市の英語・英語活動小中一貫カリキュラムに基づいて、小学校4年生以下でも、学校の取組の時間に英習を実施する。日本語指導は、児童・生徒が日本の生活に慣れ、不安なく日常の学習が受けられるよるためには、欠かすことのできない事業である。										
			当該年度 活動結果指標	/ E 1 05 + II 05	- 32/1/2/ - 32			単位	担 日 想定値 実績値	2, 160				
4)達成目標(期待する成果)	## = T - (10) n + 111	1+ + 1+ 1+ 1+ 1- ++ 2T -		(期待する成果)		指標種類	1 - 7 0 5 98 0	0 #L 7#r - 1 #L	指 標		単位	5)現況値	(6)目標値	
当該(開始)年度		持ち、積極的に英語る	直接	A L Tの年間の				B	2, 141	2, 160				
3年後		英語に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成する。 英語に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成する。					A L Tの年間の				B		2, 376	
最終(概ね5年後)					12 mm (= 4- 7 = 1, 12+8 ± 1, 7, 12	直接	A L Tの年間の	ペ勤務日数			日	2, 141	2, 376	
7) 事業実施上の課題と対応				こと、小学校間でALTの派遣日数 D派遣日数に差があることが課題で		、 代替案検討	04	●無						
		平成25年度		平月			平成	2 7 年度			平月	28年度		
	政	内 容	金額(千円)	政 内 容	金額(千円) 実績	責値(千円) 政	内 容		金額(千円)	内容		金額(千円)	
	3号嘱託(A		39, 376	3号嘱託(ALT)報酬	40, 220		属託(ALT)報酬		44, 0		(ALT)報	洲	44, 000	
	ALT共済費 3号嘱託(A	LT)費用弁償	6, 928 1, 342	共済費 3号嘱託(ALT)費用弁償	6, 983 1, 209	3号	T共済費(保険 嘱託(ALT)費用	弁償	7, 6 1, 3	65 3号嘱託	(ALT)費	用弁償	7, 640 1, 365	
	ALT消耗品 ALT負担金		100 253	ALT消耗品等 100 日本語指導謝金 540		日本記	T 消耗品等 語指導謝金		5	10 A L T 消 40 日本語指			110 540	
	* 日本語指導謝	金	600	旅費	10	旅費				10 旅費			10	
実施内容				* 3号嘱託 (ALT) 報酬 * 共済費	3, 780 657									
(8) 施行事項 費 用				* 費用弁償	156									
				* ALT消耗品	10									
予算(済)額		合 計	48, 599	: 合 計	53, 665	<u> </u>	合 計		53, 6		合 計		53, 665	
国庫支出金 県支出金	補助率	0 % 0 %	0	110 12 1	0 0 0	補助率 補助率		0 % 0 %		0 補助率 0 補助率		0 % 0 %	0	
9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率	0 %	0 48, 599	充当率 (53, 665	充当率	<u> </u>	0 %	53, 6	0 充当率		0 %	53, 665	
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益	□債務 □基金 □その		□特会 □受益 □債務 □基金 [□特会	□受益 □債務 □	基金 口その他		0 □特会 □受	☆ □債務 □]基金 □その他	0 0.44	
(10) 人件費等			5, 487 0		4, 092				4, 0				4, 092	
臨時職員賃金額 事業費(予算(済)額+正職員人件費	Į.		0 54, 086		0 57, 757				57. 7	0			0 57, 757	
(11) 単位費用	1)	25.04千円/日	54, 060	26.74千円/					57, 7	37			57, 757	
(事業費/活動結果指標)2. 事業の評価(D0+CHE)	CK)													
評価項目			東前	証 価			車 後 証	価 (証価結里	に広じ 改善図	を除計 (抗充土今)	t·))		改善検討	
TI III 外口	時代の変化にとも	事 前 評 価 時代の変化にともない国際化が進展していく中で、学校における国際理解教育の重要性はますます高まっている。平成2 3年度から、小学校において新学習指導要領に沿った教育課程が実施され、高学年での英語活動が週1時間行われている 。また、その内容と、中学校の英語教育との円滑な接続の在り方を吟味し、充実した学習環境を整備するとともに、指導 に当たるALTの質を常に高める必要がある。					事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 〇①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった 〈想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							
(1)事業が今必要である理師														
背景は?(事業の必要性														
	○①早悶企業	NPO、市民団体等で	け実体できたい	<その他の内容>		□①民間企業、N P (○ 市民団体筆では	宇体できたか	った「乙市宝物	をの具体的な内容	・必亜性の理	ь \		
要	(理由) 口法令等	で市が実施することだ 体が市しかない		くての心の行行		□②市が主導で進め7	なければ実効性がな	かった		E01401141	必要はの程	ш>		
	口その他					□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層 促進された □②まの表現が政策・拡策の日標の実現に素禁した。								
生 (2)市が実施する必要性はあるか?					<その他の内容> □		□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された							
(市実施の必要性)		:導で進めることにより :施・提供することによ				□⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>								
		『スが保証される 『援することにより政策	策・施策の目標の											
		図られる												
参加 市民の参加や市民との協働を		参加・協働の内容		工夫の具体的	な内容		協働の具体的な内容 考えられる場合には			参加・抗	協働の程度・Γ	内容		
		こ市民の参画有り こ市民の参画有り		市内在住のALTを採用することにより、市内の児童生徒や保護者、地域の状況を把握し、連携を図りながら事業を進めている。		が出・100mmのです。たびれるが独自には(VY34)			○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下					
	★ ○③管理・運営	こ川氏の参画有り こ市民の参画有り 的な活動と連携してい												
協 工夫しているか? 動 (体制づくり)	〇⑤市民と共同		<u>س</u>						<期待し	<期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				
協働 (体制づくり)	○⑥その他													
	<その他の内容>	くその他の内容>												
				取組む内]容	事物	もした具体的な内容			晋	境への配慮			
		配慮の視点				XXX O CX (FIR) OF THE			O①想	定どおり	○①想定どおり			
	□①自然環境を	生かしている		手賀沼をはじめとする我孫子の理					I ~~	○②想定どおりでなかった				
環 境 環境に配慮して事業を進め	□②生き物と共 ■③手賀沼を意	生かしている 存している 哉している			走の教育に務めている。また								—	
環境 環境に配慮して事業を進めいるか?	□②生き物と共 ■③手賀沼を意	生かしている 存している		手賀沼をはじめとする我孫子の野 大切にする視点を持って児童生徒	走の教育に務めている。また					どおりでなかったり			〇 要 〇 不要	
環境 環境に配慮して事業を進め の いるか? 記載	□②生き物と共 ■③手賀沼を意 ■④環境負荷低	生かしている 存している 哉している 成に貢献している		手賀沼をはじめとする我孫子の野 大切にする視点を持って児童生徒	走の教育に務めている。また									
境 環境に配慮して事業を進め	□②生き物と共 ■③手賀沼を意 ■④環境負荷低 □⑤その他	生かしている 存している 哉している 成に貢献している		手賀沼をはじめとする我孫子の野 大切にする視点を持って児童生徒	走の教育に務めている。また				<想定と					
環境 境 、環境に配慮して事業を進めいるか? 配慮	□②生き物と共 ■③手賀沼を意 ■④環境負荷低 □⑤その他	生かしている 存している 哉している 成に貢献している	□(介容数44.4· · · · ·	手賀沼をはじめとする我孫子の政 大切にする視点を持って児童生徒 、電子媒体を多用し、紙の使用数 目標値の妥当性のチェック	きの教育に務めている。また 対軽減に務めている。	達成状		○①目標値返○②目標値	< 想定 ≥ < < を を を を を を を を を を を を を を を を を					
環境に配慮して事業を進めいるか? 記意 (1)目標設定は適切か?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容>	生かしている 存している 歳している 咳に貢献している	■②現況値と比べ	手賀沼をはじめとする我孫子の政 大切にする視点を持って児童生物 、電子媒体を多用し、紙の使用数 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない	きの教育に務めている。また 対軽減に務めている。	達成状 実績値(f)(日)	況 達成率(%) (f/b×100)	○②目標値5	<想定と <想定と を を 達成 を達成	どおりでなかった	京因>		○ 不要○ 一○ 要	
章 環境に配慮して事業を進め の いるか? 記意	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容>	生かしている 存している 蔵している 威に貢献している	■②現況値と比べ □③現況値との差が □④適当な比較対象	手質沼をはじめとする我孫子の政 大切にする視点を持って児童生徒、電子媒体を多用し、紙の使用数 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実性が乏しい値ではない がいさい値ではない 象が有る場合、比較対象例における	を 教育に務めている。また 対経滅に務めている。		達成率(%)	○②目標値5	<想定と <想定と を を 達成 を達成		京因>		〇 不要	
章 環境に配慮して事業を進め の いるか? 記意	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日)	生かしている 存している 歳している 咳に貢献している	■②現況値と比べ □③現況値との差が	手質沼をはじめとする我孫子の政 大切にする視点を持って児童生徒、電子媒体を多用し、紙の使用数 目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している 実性が乏しい値ではない がいさい値ではない 象が有る場合、比較対象例における	を 教育に務めている。また 対経滅に務めている。		達成率(%) (f/b×100)	○②目標値 <目標を達成 ○①想定事	を成を表達成した理由/未達	どおりでなかった」	京因>	毎について	○ 不要○ 一○ 要	
境 (力) (力) 記意 (1)目標設定は適切か?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日)	生かしている 存している 歳している 歳に貢献している ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■②現況値と比べ。 □③現況値との差が □③現況値との差が □等の水準で □①国・県助成制が	手質沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生物、電子媒体を多用し、紙の使用数 目標値の妥当性のチェックタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではないなのではないなった。 と 東海予定の対策 変活用 □⑤ PFI	を	実績値(f)(日)	達成率(%) (f/b×100) 况 对事業費(%)	○②目標値 <目標を達成 ○①想定事		ビおりでなかった/ 達成となった原因〉 事事 〇①事前の想	原因> 		○ 不要○ 一○ 要	
境 環境に配慮して事業を進め の記載 (1)目標設定は適切か?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円)	生かしている 存している 蔵している 感に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円)	■②現況値と比べ。 □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 □②現有体制での ■③維持管理費の 同 ■③維持管理費の 同	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素質を実際を受けている。 ま現性が乏しい値ではない ないおいさい値ではない ないする場合、比較対象例におけるある 実施予定の対策 変活用 ロ⑤ PFI 対応 ロ⑥ 受益者	を 教育に務めている。また 対経滅に務めている。 また 対経滅に務めている。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	実績値(f)(日) 実施状	達成率 (%) (f/b×100)	○②目標値 = <目標を達成 ○①想定事事 ○②概ね想記		どおりでなかった/ 達成となった原因と 事事 ○①事前の想	原因> *費の削減対勢 別定どおり 別定どおりでか	ぶかった	O 不要 O 要 O 不要	
意 環境に配慮して事業を進め の であった。 (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか?	□②生き物と共 ■③手賀沼を意 ■④環境負荷低 □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円)	生かしている 存している 歳している 歳に貢献している ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	■②現況値と比べ。 □③現況値との差が □④適当な比較対対 同等の水準で □①国・県助成制が □②現有体制での □②現有体制での □②現有体制での □③取りにはいる。	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素の事業のではないないがいさい値ではないながらいさい値ではないない。なが有る場合、比較対象例におけるある。実施予定の対策を活用 ロ⑤ タ 上の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値(f)(日) 実施状	達成率(%) (f/b×100) 况 对事業費(%)	○②目標値 = <目標を達成 ○①想定事事 ○②概ね想記		ビおりでなかった/ 達成となった原因〉 事事 〇①事前の想	原因> *費の削減対勢 別定どおり 別定どおりでか	ぶかった	○ 不要○ 一○ 要	
環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低:□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費i	生かしている 存している 歳している 歳に貢献している 日標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) ム3,671 削減率(%)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差 □●適当な比較対 同等の水準で ○ □①国・県助成制。 □②現有体制での □③規持管理費の □④民間委託	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素の事業のではないないがいさい値ではないながらいさい値ではないない。なが有る場合、比較対象例におけるある。実施予定の対策を活用 ロ⑤ タ 上の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100) 况 对事業費(%)	○②目標値 = <目標を達成 ○①想定事事 ○②概ね想記		どおりでなかった/ 達成となった原因と 事事 ○①事前の想	原因> *費の削減対勢 別定どおり 別定どおりでか	ぶかった	○ 不要 ○ 要 ○ 不要	
環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低:□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費i	生かしている 存している 歳している 成に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) ム3,671	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差 □●適当な比較対 同等の水準で ○ □①国・県助成制。 □②現有体制での □③規持管理費の □④民間委託	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素の事業のではないないがいさい値ではないながらいさい値ではないない。なが有る場合、比較対象例におけるある。実施予定の対策を活用 ロ⑤ タ 上の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100) 况 对事業費(%)	○②目標値 = <目標を達成 ○①想定事事 ○②概ね想記		どおりでなかった/ 達成となった原因と 事事 ○①事前の想	原因> *費の削減対勢 別定どおり 別定どおりでか	ぶかった	○ 不要 ○ 要 ○ 不要	
競技 環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低:□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費i	生かしている 存している 歳している 歳に貢献している 日標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) ム3,671 削減率(%)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差 □●適当な比較対 同等の水準で ○ □①国・県助成制。 □②現有体制での □③規持管理費の □④民間委託	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素の事業のではないないがいさい値ではないながらいさい値ではないない。なが有る場合、比較対象例におけるある。実施予定の対策を活用 ロ⑤ タ 上の の の の の の の の の の の の の の の の の の	をの教育に務めている。また 女経滅に務めている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100	○②目標値 <目標を達成 ○①想定事 ○②概ね想 ○③想定事 ○①旬度事 ○③旬度事	を を を を を と 達成 した理由/未通 を 費事業費 と と き き き き き と き と き き き き き き き き き	どおりでなかった/ 達成となった原因と 事事 ○①事前の想	原因> 	なかった った原因>	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要	
意 環境に配慮して事業を進め の記念 (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費i	生かしている 存している 歳している 歳している 成に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) △3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況位とい義対 同等の水準で □①国・県助成制。 □②現有体制での。 ■③維持管理費の。 □④民間委託 ◇削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素 目標値の妥当性のチェックタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない。なが有る場合、比較対象例におけるある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F I 者対応 □⑥ P F I 者別減策の実施 □⑦その他	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 5目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) (超過理由等>	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100 況	○②目標値= <目標を達成 ○①想定事ま ○②概ね想5 ○③想定事ま	を表達成 を表達成 した理由/未通 を費素業費以内 を費素を書きる。 と同程度	達成となった原因ン事業○①事前のむ○②事前のむ<想定どおりを	原因> 	なかった った原因>	O 不要 O 要 O 不要 O 要 O 不要	
環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費店	生かしている 存している 歳している 歳している 成に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円) △3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況位とい義対 同等の水準で □①国・県助成制。 □②現有体制での。 ■③維持管理費の。 □④民間委託 ◇削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素の事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。まがする場合、比較対象例におけるある 実施予定の対策 変活用 ロ⑤ P F I 対応 ロ⑥ 受益者削減策の実施 ロ⑦ その他	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 5目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) 〈超過理由等〉	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100	○②目標値≠ <目標を達成 ○①想定事業 ○②概ね想及 ○③想定事業 ○①目標値以 ○②目標値	を表達成 を表達成 した理由/未通 を費素業費以内 を費素を書きる。 と同程度	達成となった原因ン事業○①事前のむ○②事前のむ<想定どおりを	原因> 	なかった った原因>	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要	
意 環境に配慮して事業を進め の記念 (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷低: □⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費i	生かしている 存している 厳している 蔵に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d)(千円) △3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値との差対 同等の水準で □①国・県助成制 □②現有体制での ■③維持管理費の □④民間委託 ◇削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の政大切にする視点を持って児童生活、電子媒体を多用し、紙の使用素 目標値の妥当性のチェックタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない。なが有る場合、比較対象例におけるある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F I 者対応 □⑥ P F I 者別減策の実施 □⑦その他	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 5目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) 〈超過理由等〉	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100 況	○②目標値≠ <目標を達成 ○①想定事業 ○②概ね想及 ○③想定事業 ○①目標値以 ○②目標値	を表達成 を表達成 した理由/未通 を費素業費以内 を費素を書きる。 と同程度	達成となった原因ン事業○①事前のむ○②事前のむ<想定どおりを	原因> 	なかった った原因>	O 不要 O 要 O 不要 O 要 O 不要	
環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正からに標対費用)	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷(K)□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費ぎ	生かしている 存している 厳している 蔵に貢献している 目標値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d)(千円) △3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e)	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況ではといの差対 同等の水準でで □①国・県助成制 □②現井停理費の □④民間委託 ▼削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の歌大切にする視点を持って児童生物、電子媒体を多用し、紙の使用数の事業を受けている。	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 5目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) 〈超過理由等〉	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100 況	○②目標値≠ <目標を達成 ○①想定事業 ○②概ね想及 ○③想定事業 ○①目標値以 ○②目標値	を表達成 を表達成 した理由/未通 を費素業費以内 を書業超過	達成となった原因ン事業○①事前のむ○②事前のむ<想定どおりを	原因> 	なかった った原因>	O 不要 O 要 O 不要 O 要 O 不要	
意 環境に配慮して事業を進め が (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正かく (目標対費用) 3.事後評価 ○現状どおり推進	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷(K)□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費ぎ	生かしている 存している 歳している 歳している 同様値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d)(千円) 公3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e) 単位 日	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況ではといの差対 同等の水準でで □①国・県助成制 □②現井停理費の □④民間委託 ▼削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の歌大切にする視点を持って児童生物、電子媒体を多用し、紙の使用数の事業を受けている。	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 □ □ 目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担 □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) 〈超過理由等〉	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100 況	〇②目標値タ <目標を達成 〇①想定事等 〇②概ね想及 〇③想定事等 〇②目標値以 〇③目標値以	を表達成 を表達成 した理由/未通 を費素業費以内 を書業超過	を成となった原因と	原因> 	なかった った原因>	O 不要 O 要 O 不要 O 要 O 不要	
環境に配慮して事業を進めいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正かく(目標対費用) 3.事後評価	□②生き物と共: ■③手賀沼を意: ■④環境負荷(K)□⑤その他 <その他の内容> 現況値(a)(日) 2,141 対策実施に。 事業費(c)(千円) 57,757 事業費ぎ	生かしている 存している 歳している 歳している 同様値(b)(日) 2,160 よる事業費削減 事業費削減額(d)(千円) 公3,671 削減率(%) 6.79 目標値対事業費(e) 単位 日	■②現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③現況値と比べ。 □③明末でで □①国・県助成制。□②現有体制理費の同②現特情要群での。 ■③保持情要託 ▼削減の内容〉	手賀沼をはじめとする我孫子の歌大切にする視点を持って児童生物、電子媒体を多用し、紙の使用数の事業を受けている。	をの教育に務めている。また 女軽減に務めている。 □ □ 目標値(と現況値の差)と 等民間資本の活用 負担 □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	実績値(f)(日) 実施状 実績値(g)(千円) 〈超過理由等〉	達成率(%) (f/b×100) 況 対事業費(%) (g/c)×100 況	〇②目標値タ <目標を達成 〇①想定事等 〇②概ね想及 〇③想定事等 〇②目標値以 〇③目標値以	を を を を を を を で で で で で で で で で で で で で	を成となった原因と	原因> 	なかった った原因>	O 不要 O 要 O 不要 O 要 O 不要	